

こうべ山の小学校

～第3回森の生き物観察会～

8月号

モリノヒミツキチ
2026年8月17日



小さな生きものたちの、ふしぎな世界。

実は7月に開催予定だった本プログラムですが、当日の雨で延期となり、平日の振替開催となりました。今回は、講師に「よっしー」こと株式会社テネラルの吉田峰規さんをお迎えし、昼と夜の2部制で森の生きものたちの秘密に迫りました。

森にすむ小さな昆虫たちは、落ち葉を分解したり植物を育てたりと、森の生態系を支える大切な役割を担っています。実際に生き物たちに触れ、その小さな命が森を豊かにしていることに気づく体験は、森を大切にする心へと育っていきます。

第1部は「昆虫探しと観察」。子どもたちは虫取り網を片手に、緑あふれる公園中を駆け回りました。自分で捕まえた虫をログハウスに持ち帰り、デジタルマイクロスコープを大きなモニターに映し観察しました。肉眼では見えない体のつくりに、みんな釘付けになっていました。日が落ちた第2部は、いよいよ「ライトトラップ」を使った夜の森の探検です。暗闇の森をドキドキしながら歩き、光に集まる昆虫たちの習性を利用して夜の生きものたちを観察しました。涼しさからか、はじめはなかなか虫が集まりませんでしたが、最後に大きなガが姿をみせてくれました。保護者の方からも「普段なじみのないガに子供が興味を持った」「初めて自分で虫がつかまえられた」と、大満足の声をたくさんいただきました。

＼ 今月のベストショット /



暗闇の中、ヘッドライトの明かりを頼りに、自分たちで捕まえた昆虫を図鑑で調べる親子と講師のよっしー。ページをめくりながら「これかな?」「あ、いた!」と夢中になって正体を突き止めようとする真剣な眼差しがとても素敵ですね。夜の森という非日常の空間での体験は、忘れられない夏休みの思い出になりました

こうべ山の小学校は、「森で遊んだら、森がきれいになった」をテーマに子どもたちが森に親しみ、森を大切にする心を育むために実施しています。次回の開催もどうぞお楽しみに！

